

令和4年度 土木学会中国支部 行事報告

○令和4年度中国支部研究発表会

令和4年5月20日・21日、第74回（令和4年度）土木学会中国支部研究発表会が開催されました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大状況を受け、「特別講演会」及び「研究発表会」をオンライン上で実施しました。

5月20日は、「中国地方のビッグ・ピクチャー -社会基盤の“今”を俯瞰し、“未来”を描く-」と題して、基調講演とビッグピクチャー交流会の2部構成として、特別講演会を行いました。初めに、松江工業高等専門学校校長大津宏康氏により基調講演を行い、続いて、次世代を担う学生が中国地方のビッグピクチャーを創造するという点に着眼し、中国地方の大学及び高専から各チームが参加し、各チームが将来の中国地方を斬新な切り口から提案されました。その提案を審査し、優秀賞として3件を表彰しました。



特別講演会チラシ

5月21日は、研究発表会を実施し、Web会議システム（Zoom）を使い、7会場並行で行い、第I部門から第VII部門まで計27セッション（発表件数：168件、司会者数27名）を開催した。若手優秀発表表彰は、あらかじめ依頼した審査員（座長）による審査結果に基づいて、27名が受賞しました。Web会議の管制は松江工業高等専門学校の情報処理演習室で実施しました。

概要集の表紙は、松江の桜の名所でもあり、選奨土木遺産の「千本ダム」を用いました。

○夏休み親子見学会

令和4年7月16日、海田町の小学生とその保護者38名が参加して「夏休み親子見学会」が開催され、安芸郡海田町の東広島・安芸バイパス整備事業の工事現場を見学しました。バスで高架橋へ上がり、中国地方整備局広島国道事務所から工事概要の説明を聞いた後、参加者は、ドローンの操作を見学し、VR・鉄筋結束の体験をしました。

参加した小学生女子は、デジタル化してきても人の手は必要だということを感じ、少し土木の道に進むことも考えた、話していました。最後にドローンを使って記念撮影を実施しました。



VR体験



鉄筋結束体験



ドローンによる記念撮影（2組目参加者）

○土木ツアー

令和4年7月23日（土）鳥取県内の小学生とその親子82名が参加して「土木ツアー」が開催され、倉吉市にある「鳥取県立美術館建設現場」の見学会を行いました。

説明を受けた後、120トンクローラークレーンに試乗し、タブレットを操作してAR体験、バックホーに試乗して土をすくい、ゲームのコントローラーのようなものでARウォークスルーで実際の現場の様子を見ました。いろいろな建設機械に試乗でき、ARを使った最新技術に触れ、夏休みのよい思い出になりました。



バックホー試乗体験



ARウォークスルー

○どぼくカフェ in 倉吉

令和4年7月23日（土）土木ツアーに続いて、倉吉未来中心のアトリウムにて、京都大学の高橋良和先生をお迎えして、「どぼくカフェ」を開催いたしました。今回は、「大きな機械が活躍するドボクの世界！」と題して、世界中の巨大な建設機械を紹介していただき、楽しい時間を過ごしました。



○令和4年度選奨土木遺産認定式 ～翁橋～

令和4年12月14日、雪まじりの中、岡山県津山市の翁橋の橋上にて「令和4年度選奨土木遺産認定式」を開催いたしました。

翁橋は、大正から昭和初期に橋面が煉瓦舗装された数少ない橋梁のうち、当時の舗道煉瓦が全面に残っている極めて貴重な土木遺産として認定されました。煉瓦舗装の上にアスファルトを施していましたが、今回、強化ガラスを設置し、煉瓦舗装が見えるように施されました。

管理者である津山市の谷口圭三市長へ、土木学会中国支部支部長 広島大学教授 河合研至より、認定証と銘板が授与されました。

谷口市長は、まち全体を博物館として見立てた構想を進める中で、翁橋を大切にしていきたいと、話していました。



○第15回身近な土木を描いてみよう！図画コンクール

第15回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」を実施しました。中国5県から小中学生の素晴らしい作品、1,420枚が寄せられ、優秀賞13点と佳作51点を選考しました。優秀賞を対象とした表彰式は、広島、鳥取、岡山と3か所で行われ、河合研至支部長より、優秀賞者へ表彰状と優秀作品を掲載した2023年のカレンダーを贈呈しました。低学年の作品には、家族を題材にしたほのぼのとしたものや、高学年の作品には、橋やクレーンなど緻密に描かれたものもありました。今回は、過去最高の応募があり、このコンクールが定着してきているようだ、審査員をお願いしている校長先生から感想をいただきました。



表彰式（広島）

令和5年(2023年)度 全国大会の紹介 令和5年9月11日(月)～15日(金)

《大会テーマ》 不確実な時代における土木の新たな挑戦
～技術でつながる「適散適集」な社会～

近年、激甚化・頻発化する災害対応やインフラ施設の老朽化対策の必要性が高まる一方、人口減少や高齢化に伴い深刻な人手不足の進行が懸念されている。加えて、SDGsに向けた取り組みや地球温暖化の抑制のためのCO₂の削減、ポストコロナの新しい社会の構築などのグローバルな課題も山積する。このように多面的で複雑な課題を抱えた先の見えない時代において、安全・安心・持続的な社会を構築・維持していくためには、土木界の新たな挑戦が必要である。

広島県においては、ポストコロナの新しい社会として、リスクを回避するための適切な分散と社会経済活動を活性化させるための適切な集中を両立する「適散・適集社会」を提唱している。

令和5年度に中国支部が担当する土木学会全国大会においては、デジタル技術を活用するとともに、広島都市圏における広域開催に挑戦する「適散適集」型の大会となる。

《開催日および会場(予定)》

9/11(月)・12(火) 【オンライン】 研究討論会

9/13(水) 【広島国際会議場】 基調講演会、特別講演会、全体討論会、研究討論会
【ANAクラウンプラザホテル広島】 交流会

9/14(木)・15(金) 第78回年次学術講演会
【広島大学 東広島キャンパス】

共通セッション、第I部門(構造)、第II部門(水理)、
第III部門(地盤)、第IV部門(計画)、第V部門(コンクリート)、
第VII部門(環境・エネルギー)

【広島工業大学 五日市キャンパス】

共通セッション、第VI部門(建設技術マネジメント)

※共通セッションは、五日市キャンパスを主会場とし、座長・発表者・聴講者が五日市・東広島両会場から参加可能な二拠点間接続方式を予定します。

《会場・アクセス》



《スケジュール》

第1日・2日目 9月11日-12日(月.火)		第3日目 9月13日(水)		第4日目 9月14日(木)		第5日目 9月15日(金)		
		研究討 論会	国際 行事	年次学術講演会① (80min)	広島工業 大学 東広島 五日市 キャン パス (東広島 市)	年次学術講演会⑥ (80min)	広島工業 大学 東広島 五日市 キャン パス (東広島 市)	
研究討 論会 (120min)	オン ライ ン 開 催			年次学術講演会② (80min)		年次学術講演会⑦ (80min)		
				年次学術講演会③ (80min)		年次学術講演会⑧ (80min)		
研究討 論会 (120min)			基調講演会 ・ 特別講演会 ・ 元気丸(漫才) ・ 全体討論会	年次学術講演会④ (80min)		年次学術講演会⑨ (80min)		
				年次学術講演会⑤ (80min)		年次学術講演会⑩ (80min)		
研究討 論会 (120min)								
		移動						
		交流会 (90min)	(広島市中区) 全日空ホテル					